

外国語活動（教科型） 学習指導案

学校名 海田町立海田小学校
授業者 HRT (5-2) 坂倉 洋平
外国語担当 清水由美子

- 1 日時 平成30年11月14日（水） 第5校時
- 2 学年 第5学年2組 男子19名 女子 9名 計28名
- 3 単元名 Dream 5-6 I want to go to Italy. おすすめの旅行プランを立てよう
<We Can! 1 Unit 6 I want to go to Italy. (行ってみたい国や地域, 旅行, 生活)>

4 単元について

- 本単元は、自分が行きたい国について紹介したり、友だちとどこに行きたいかを尋ねあったりする活動と、世界の様々な国の特徴やよさを紹介する活動を組み合わせた活動を通して、できることを伝えたり、世界の文化を伝えたりする表現に慣れ親しむものである。単元の最後には、ALTの先生も参加して旅行会社と旅行者に分かれておすすめプランについてのやり取りをする活動を設定している。

主な使用表現として、**I want to ～. You can～.** という自分の思いを伝えたり、友だちとのコミュニケーションなどで頻繁に使ったりする表現を扱っている。そのため、自分のおすすめの国のことを伝えたい、友だちがしたいことを聞きたいというコミュニケーションへの関心を高め、それを適切な表現で伝えようという意欲を引き出していくことができる単元である。また、外国の特徴や文化について知り、それを英語で表現する活動を通して、グローバルマインドを育成することのできる題材でもある。さらに、疑問詞 **Where** を扱った単元であり、英語のコミュニケーションで多く使われる「疑問詞+do you～?」の語順への慣れ親しみにつながることができる。**I want to ～.** という不定詞を用いた表現は、頻出する表現で、本単元で正しい語順に慣れ親しませることが、今後の理解に有効につながる。

また、世界の国々のよさを紹介するために、既習の **You can ～.** や **It's+** (様子をあらわす形容詞)。という表現を使い、今までに自分や友だちなどごく身近な存在について述べていたことを、より広い視点から活用する内容となっている。

- 本学年の児童は、第1, 2学年時に年間7時間、第3学年時に年間13時間、4学年時には先行実施で年間35時間の外国語活動を学んできている(1～4年は裁量時間)。また、第3学年からは毎日各学級で「ひとくち英語」に取り組み、外国語に触れている。第5学年になってからは友だちと英語でやり取りをすることに意欲的に取り組んでおり、**English Time** では積極的に既習表現を用いてコミュニケーションを図っている。英語を聞くことに慣れ親しんでいる児童が多く、「夢の時間割を作ろう」の学習では世界の子どもの時間割を正確に聞き取っていた。日常的な応答や交流活動においては、友達や指導者の発話に対しての、**Me, too. / Me, neither. / Really? / Wow!** などの反応する言葉や、物を渡す時の **Here you are. / Thank you.** などの表現が自然に出てくるようになってきている。また、**English Time** では、**Why? / Because～.** 等とやり取りのバリエーションを児童自身で広げている姿もよく見かけるようになった。しかし、やり取りをすることに苦手意

識をもっている児童もおり、自由に歩き回ってやり取りをする場面では、自分から英語で話しかけることができなかつたり、英語で話しかけられても指導者の支援がなければ英語でのコミュニケーションがとれなかつたりする児童もいる。

本学級の児童は、6月に行った外国語活動（英語）についてのアンケート調査によると、次のような実態があることが分かった。

番号	項目	肯定的回答の割合（人数）
1	小学校での英語の勉強は将来役に立つと思います。	100%（28人中28人）
2	外国語活動（英語）の授業以外で英語を使ってみたいと思います。	86%（28人中24人）
4	外国語活動（英語）の授業に進んで参加しています。	100%（28人中28人）
10	英語でやり取りをする時には、会話が続くように、知っている表現を使うようにしています。	89%（28人中25人）

上記の様に英語の有用性を感じながらも、実際に日常生活で使うことについて自信をもつことができない児童がいることがうかがえる。また、「英語でやり取りをする時には、会話が続くように、知っている表現を使うようにしています。」の項目については肯定的な回答を行った児童の割合は高いものの、「とてもあてはまる。」と回答した児童は全体の43%にとどまっており、やり取りにはやや課題があると考えられる。

- 指導に当たっては、見通しの場面では、単元のゴールで見せるやり取りが、単に友達同士で行うだけのものではなく、ALTも参加してやり取りを行うものであることから、英語を使って相手に自分のプランの魅力が伝わる表現を使用することを意識させる。

協働の場面では、学級担任や外国語担当がやり取りのモデルを示し、話す内容だけでなく、話し方や表情なども含めたコミュニケーションの望ましい姿を見せることで、児童のコミュニケーションの態度の育成を図る。また、国のよさを紹介する表現では、canや様子を表す形容詞等の既習表現を活用して自分が伝えたいことを英語で表現させることを通して、自分が話したり書いたりした英語が相手に伝わるといふ喜びを味わわせて学びに向かう姿勢を育てていく。そして、学級担任が積極的に英語を使おうとすることで、児童が間違いを恐れず進んでコミュニケーションを図ろうとする雰囲気作りを行っていく。やり取りの場面では、問いかけに対して答えるだけの一方通行のやり取りではなく、反応や感想、問い返しなどをして話を続けることを促し、児童が日常生活でも英語を使う場面に遭遇した時に、自信をもってやり取りをすることができる土台を作っていく。

振り返りの場面では、単元を通して新しく知ったことや気付いたこと、自分がどのようなことに興味をもって学習し、これからどのような力を身に付けていきたいかなど、振り返りの視点を示して振り返りカードに記述するようにする。

5 単元の目標

- 【コ】他者に配慮しながら、行きたい国や地域について説明したり、自分の考えを整理して伝え合ったりしようとする。
- 【慣】国名や行きたい場所について、聞いたり言ったりする。また、それらを書き写す。
- 【慣】行きたい国や地域について理由も含めて伝え合う。
- 【気】世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。

6 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する 気付き
①他者に配慮しながら、 行きたい国や地域について説明したり、自分の考えを伝え合ったりしよう としている。	①国名や行きたい場所について、聞いたり言ったりしている。 ②国名や行きたい場所を表す語句や表現を書き写している。 ③行きたい国や地域について説明したり、自分の考えを理由も含めて伝え合ったりしている。	①世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付いている。

7 本単元において育成したい資質・能力

本校で育成したい資質・能力は、①主体性 ②コミュニケーション能力 の2つである。

育成したい資質・能力	本単元の学習を通して目指す姿
主体性	旅行先としておすすめしたい国や地域について進んで紹介したり、行きたい国や地域について自分の考えも含めて英語で表現したりしている。
コミュニケーション能力	他者に配慮しながら、旅行先としておすすめしたい国や地域について言葉や簡単な英文で説明したり、行きたい国や地域について自分の考えを伝え合ったりしている。

8 使用表現・語彙

【主な使用表現・語彙】

○Where do you want to go? I want to go to (Italy). Why?

I want to [see / go to / visit] (the Colosseum). I want to eat (pizza). I want to buy (olive oil).

It's [exciting / delicious / beautiful / great / fun].

○国 (America, Australia, Belgium, Brazil, Canada, China, Egypt, Finland, France, Germany, India, Ireland, Italy, Japan, Korea, Peru, Russia, Spain, Thailand, the UK),

状態・気持ち (beautiful, delicious, exciting, fun), where, 動作 (visit, see, buy, eat), where, coffee

【繰り返しの使用表現・語彙】

動作, 状態・気持ち, 国, 飲食物

Do you want (a ball)? I want (a new ball). Why? I [like / don't like] (soccer).

It's (good). I/You can eat (ice cream).

9 関連する学習指導要領における領域別目標

読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	ア 大文字, 小文字を活字体で書くことができるようにする。また, 語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

10 単元のゴールと他学年との関連

★単元のゴール 「私のおすすめの海外旅行場所」紹介（パンフレットの作成と発表）

A: (数カ国のパンフレットを提示して) Where do you want to go?

B: (パンフレットの写真から選択して) I want to go to France.

A: OK. France is very nice. You can see the Eiffel Tower. It's great. You can eat croissants. They are yummy. You can buy French chocolate. It's a nice gift.

B: Oh, good.

A: This is a pamphlet. Here you are.

B: Thank you.

A: Thank you very much. Have a nice trip.

○ 目的：友だちに、自分のおすすめの旅行先に行ってみたいと思わせたい。

○ 場面・状況：パンフレットを作成し、地域ごとの旅行会社グループに分かれて旅行先とおすすめポイントを紹介するやり取りを行う。

(パンフレットはやり取りでコピーを渡し、原本は後日教室に展示する。)

★他学年との関連

【題材】

【文構造】

4年 Unit 4 What time is it? 今、何時?
(世界の国や地域の生活時間)

5年 Unit 5 She can run fast. He can jump high. ぼくのわたしのできること (can)

5年 Unit 6 (本単元) I want to go to Italy. おすすめの旅行プランを立てよう
(行ってみたい国や地域, 旅行, 生活)

6年 Unit 2 Welcome to Japan.
日本へようこそ (日本の文化)

6年 Unit 8 What do you want to be?
「夢宣言」をしよう (I want to ~)

中1年 Program 6 由紀のイギリス旅行
Program 10 Mike's Visit to Washington, D.C.

中2年 Program 6 A Work Experience Program (不定詞 want to ~)

1 1 単元計画（8時間【6時間（45分）＋2時間（15分6モジュール）】）

【モジュール学習 2時間（15分3モジュール×2）】

※①は単元の前期（導入前でもよい）、②は単元の後期（終了後でもよい）に実施する。

時	目標と主な活動	表現・会話例	評価規準(方法)
モジュール① (単元前期)	<p>見通し 【気】世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。</p> <p>【慣】国名や行きたい場所について、聞いたり言ったりする。また、それらを書き写す。</p>	<p>I want to go to (Italy).</p> <p>○国 (America, Australia, Belgium, Brazil, Canada, China, Egypt, Finland, France, Germany, India, Ireland, Italy, Japan, Korea, Peru, Russia, Spain, Thailand, the UK)</p>	<p>【気①】世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付いている。</p> <p>【慣①】国名や行きたい場所について、聞いたり言ったりしている。</p> <p>【慣①】国名や行きたい場所を表す語句や表現を書き写している。 (行動観察, ワークシート点検, 振り返りカード分析)</p>
	<p>いろいろな国名を英語で言おう。</p> <p>○「国旗&漢字国名クイズ」(PP教材)</p> <p>A ○【Jingle】Countries Jingle (p.48)</p> <p>○【Let's Read and Write 1】国の名前を書き写そう。(ワークシート Unit 6-1)</p>		
	<p>いろいろな国の情報を知ろう。</p> <p>B ○【Jingle】Countries Jingle (p.48)</p> <p>○「国当てゲーム(3ヒントクイズ)」(PP教材)</p> <p>○「いろいろな国のおすすめポイントを知ろう。」</p>		
モジュール② (単元後期)	<p>自分が行きたい国を言おう。</p> <p>C ○【Jingle】Countries Jingle (p.48)</p> <p>○「自分が行きたい国を言おう。」</p> <p>○【Let's Read and Write 2】行きたい国を例に倣って書いてみよう。(ワークシート Unit 6-2)</p>	<p>Hello! My name is Hikari. I want to go to Thailand. I want to see Ayutthaya. I want to eat tom yum kung. It's delicious.</p> <p>I want to buy coconut oil. It's good. Thank you!</p>	<p>【慣①】国名や行きたい場所について、聞いたり言ったりしている。</p> <p>【慣①】国名や行きたい場所を表す語句や表現を書き写している。 (行動観察, 評価問題, ワークシート点検, 振り返りカード分析)</p>
	<p>ブラジルの紹介を聞こう。</p> <p>A ○【Let's Watch and Think 4/Let's Read and Write 5,6,7】映像とポスターを見て、わかるところに線を引こう。(p.46) (ワークシート Unit 6-5,6,7)</p>		
	<p>自分の行きたい国についてまとめよう。</p> <p>B ○【Let's Read and Write 8】例を参考にし、自分の行きたい国やしたいことをまとめてみよう。(ワークシート Unit 6-8,9)</p>		
	<p>単元力試しをしよう。</p> <p>C ○〔力試し Write/Listen〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おすすめの旅行先そこでできることの聞き取り (【Let's Watch and Think 3】p.45 活用) ・アルファベット小文字 (穴埋め10問) ・行きたい国やしたいこと (単語選択) 		

時	目標と主な活動	表現・会話例	評価規準(方法)
1	<p>見通し 【気】世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。</p> <p>【慣】国名や行きたい場所について、聞いたり言ったりする。</p> <p>行きたい国をたずねたり答えたりしよう。</p> <p>○【Small Talk】先生の行きたいところ</p> <p>※この単元で取組む課題を知り、単元の見通しをもつ。</p> <p>○【Jingle】Countries Jingle (p.48)</p> <p>○【Let's Watch and Think 1】映像を見て、有名な建物や食べ物などについて、わかったことをメモしよう。(p.42)</p> <p>○「What country? クイズ」(PP 教材)</p> <p>○【Chant】Where do you want to go? (オリジナル国①)</p> <p>○「行きたい国を尋ねたり答えたりしよう。」</p>	<p>Where do you want to go?</p> <p>I want to go to (Italy).</p> <p>○国 (America, Australia, Belgium, Brazil, Canada, China, Egypt, Finland, France, Germany, India, Ireland, Italy, Japan, Korea, Peru, Russia, Spain, Thailand, the UK),</p>	<p>【気①】世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付いている。</p> <p>【慣①】国名や行きたい場所について、聞いたり言ったりしている。(行動観察、誌面点検、振り返りカード分析)</p>
2	<p>協働 【慣】国名や行きたい場所について、聞いたり言ったりする。</p> <p>【慣】行きたい国や地域について理由も含めて伝え合う。</p> <p>自分が行きたい理由を伝え合おう。</p> <p>○【Jingle】Countries Jingle</p> <p>○【Small Talk】理由を聞いて、先生の行きたい国をあげよう。</p> <p>○【Let's Watch and Think 2】インタビューを受ける人物がどのような国に行き、何をしたいのかを考えよう。(p.44)</p> <p>○【Chant】Where do you want to go? (オリジナル国②)</p> <p>○「自分が行きたい国とその理由を伝え合おう。」</p>	<p>Where do you want to go? - I want to go to (Italy).</p> <p>Why? - I want to [see / go to / visit] (the Colosseum).</p> <p>I want to eat (pizza).</p> <p>I want to buy (olive oil).</p> <p>It's [exciting / delicious / beautiful / great / fun].</p> <p>○国</p> <p>○状態・気持ち (beautiful, delicious, exciting, fun)</p> <p>○動作 (visit, see, buy, eat)</p>	<p>【慣①】国名や行きたい場所について、聞いたり言ったりしている。</p> <p>【慣③】行きたい国や地域について説明したり、自分の考えを理由も含めて伝え合ったりしている。(行動観察、誌面点検、振り返りカード分析)</p>
3	<p>協働 【慣】行きたい国や地域について理由も含めて伝え合う。</p> <p>おすすめの国でできることを考えよう。</p> <p>○【Chant】Where do you want to go? (オリジナル国②)</p> <p>○【Small Talk】先生のおすすめの国</p> <p>○【Let's Watch and Think 3】映像を見て、わかったことを線で結ぼう。(p.45)</p> <p>○「自分が選んだ国の名所・食べ物・お土産でおすすめしたいものを選ぼう。」</p> <p>○【Let's Chant】②It's a nice country. (p.43)</p> <p>○【Activity】おすすめの本を紹介し合おう。(p.44)</p>	<p>France is very nice.</p> <p>You can see the Eiffel Tower.</p> <p>You can eat croissants.</p> <p>You can buy French chocolate.</p> <p>○国</p> <p>○動作</p>	<p>【慣③】行きたい国や地域について説明したり、自分の考えを理由も含めて伝え合ったりしている。(行動観察、ワークシート(誌面)点検、振り返りカード分析)</p>

4	<p>協働 【慣】 国名や行きたい場所について、聞いたり言ったりする。また、それらを書き写す。</p> <p>「おすすめの旅行先」紹介パンフレットをかこう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 【Let's Chant】 ②It's a nice country. (p.43) ○ 【Small Talk】 先生のパンフレット紹介 ○ 【Let's Watch and Think 5】 映像を見て、どこの国かについて考えて、国旗に丸をつけよう。(p.48) ○ 『「おすすめの旅行先」紹介パンフレットをかこう。』 	<p>France is very nice. You can see the Eiffel Tower. It's great. You can eat croissants. They are yummy. You can buy French chocolate. It's a nice gift.</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国 ○動作 ○状態・気持ち 	<p>【慣①】 国名や行きたい場所について、聞いたり言ったりしている。</p> <p>【慣②】 国名や行きたい場所を表す語句や表現を書き写している。(行動観察, パンフレット評価, 振り返りカード分析)</p>
5 本時	<p>協働 【慣】 行きたい国や地域について理由も含めて伝え合う。</p> <p>【慣】 国名や行きたい場所について、聞いたり言ったりする。また、それらを書き写す。</p> <p>「おすすめの旅行先」紹介の練習をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 【Jingle】 Countries Jingle ○ 【Chant】 Where do you want to go? (オジナル国②) ○ 【Small Talk】 先生おすすめの旅行先紹介 (指導者同士, 指導者と児童のやり取り) ○ 【Let's Chant】 ②It's a nice country. (p.43) ○ 「友だちに伝わるような紹介の仕方を考え、グループでやり取りしよう。」 ○ 「ペアグループでやり取りしよう。」 ○ 「やり取りを通して行きたいと思った旅行先とその理由を書こう。」 	<p>A: Where do you want to go? B: I want to go to France . A: OK. France is very nice. You can see the Eiffel Tower. It's great. You can eat croissants. They are yummy. You can buy French chocolate. It's a nice gift. B: Oh, good. A: This is a pamphlet. Here you are. B: Thank you. A: Thank you very much. Have a nice trip.</p>	<p>【慣③】 行きたい国や地域について説明したり、自分の考えを理由も含めて伝え合ったりしている。</p> <p>【慣②】 国名や行きたい場所を表す語句や表現を書き写している。(行動観察, ワークシート点検, 振り返りカード分析)</p>
6	<p>協働 【コ】 他者に配慮しながら、行きたい国や地域について説明したり、自分の考えを整理して伝え合ったりしようとする。</p> <p>振り返り 【慣】 行きたい国や地域について理由も含めて伝え合う。</p> <p>「おすすめの旅行先」を紹介しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 【Let's Chant】 ②It's a nice country. (p.43) ○ 『わたしのおすすめの旅行先』紹介 ○ 【Small Talk】 「先生おすすめの日本国内の旅行先」紹介 ※6年での日本紹介の内容を伝える ○ 【STORY TIME】 Maria の家族紹介 ● 単元ふり返りカードの記入 ※内容面と言語面についてふり返る。 	<p>A: Where do you want to go? B: I want to go to France . A: OK. France is very nice. You can see the Eiffel Tower. It's great. You can eat croissants. They are yummy. You can buy French chocolate. It's a nice gift. B: Oh, good. A: This is a pamphlet. Here you are. B: Thank you. A: Thank you very much. Have a nice trip.</p>	<p>【コ①】 他者に配慮しながら、行きたい国や地域について説明したり、自分の考えを伝え合ったりしようとしている。</p> <p>【慣③】 行きたい国や地域について説明したり、自分の考えを理由も含めて伝え合ったりしている。(パフォーマンス評価 [やり取り・発表], 振り返りカード分析)</p>

12 本時の学習 (第5時 45分)

目標：【慣】行きたい国や地域について理由も含めて伝え合う。

【慣】国名や行きたい場所について、聞いたり言ったりする。また、それらを書き写す。

準備：タブレット【デジタル教材 (We can! 1), 自作 PP 教材】、教師用絵カード、表現カード、パンフレットモデル (指導者)、作成したパンフレットとそのコピー (児童)

過程	学習活動	指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価基準 [評価方法]
導入	<p>○挨拶をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。(指導者と・ペアで) ・曜日, 日付, 天気を言う。 <p>○【Jingle】Countries Jingle</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの文字がもつ音を意識しながら, デジタル教材の後についてジングルを言う。 <p>○【Chant】Where do you want to go? (オリジナル国②)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が質問側, 指導者が答える側でチャンツを言う。 ・役割を交代して言う。 	<p>◇はっきりとした声で, 気持ちのよい挨拶を交わす。</p> <p>◇アルファベットの読み方とは違う, その文字の持つ音を意識させる。</p> <p>◆指導者が口をはっきりと動かし, 音の特徴をとらえやすいように一緒にジングルを言う。</p> <p>◇英語の音を意識しながら, ジェスチャーを交えて一緒に言う。</p>	
	<p>○【Small Talk】先生おすすめの旅行先紹介 (指導者同士, 指導者と児童, 児童同士のやり取り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者のやり取りを見て, 本時の目標となるパンフレットを用いた紹介の仕方を知る。 ・指導者同士のやり取りの最初の部分を指導者と児童が行い, 同様に児童がペアでやり取りを行う。 	<p>◇拡大したパンフレットを見せながら, 児童の発表のモデルとなるようなやり取りを見せる。</p> <p>◇“Where do you want to go?” “I want to go to ~.” の表現カードを掲示し, 対話の流れを確認する。</p>	

見通し

S1: 自分が調べた国のよさを紹介したいな。

S2: 友達が調べて国のよさについても知りたいな。

S3: 楽しくやりとりできるように, 「おすすめの旅行先」紹介の練習がしたい。

【指導者のやり取り】

T1: (パンフレットを見せて) Where do you want to go?
 T2: Umm.... (1つの国の写真を指差して) I want to go to France.
 T1: OK. France is very nice. You can see the Eiffel Tower. It's great.
 You can eat croissants. They are yummy.
 You can buy French chocolate. It's a nice gift.
 T2: Oh, good.
 T1: This is a pamphlet. Here you are.
 T2: Thank you.
 T1: Thank you very much. Have a nice trip.

【指導者と児童のやり取り】

T1: (児童の一人にパンフレットを見せて) ○○ san, where do you want to go?
 S1: Umm.... (1つの国の写真を指差して) I want to go to [Italy].
 T1: OK. [Italy] is nice.
 (別の児童に) How about you, ○○ san? Where do you want to go?
 S2: Umm.... (1つの国の写真を指差して) I want to go to [Germany].
 T1: Oh, me too.
 T2: Now let's ask your partner. "Where do you want to go?"

【児童同士のやり取り】

S1: Where do you want to go?
 S2: I want to go to [Italy].

○本時のめあてを立てる。

グループで「おすすめの旅行先」を紹介しよう。

協働

S1: 自分が調べた国のよさを紹介するには、相手にとって分かりやすい表現方法を工夫する必要があるな。
 S2: 友達の紹介の仕方だと、その国がとても魅力的に感じるな。紹介する順序を変えてみようかな。
 S3: アドバイスを参考にしてもっとやりとりの工夫をしてみよう。

展
開

○【Let's Chant】②It's a nice country. (p.43)
 ・児童が You can- の表現, 指導者が反応表現のパートでチャンツを言う。
 ・役割を交代してチャンツを言う。
 ・自分たちがおすすめする国ならどんな言葉が入るかを考える。

◇“You can see / eat / buy ~.” の表現カードを掲示し, 表現を確認してから, 一緒に言う。
 ◇自分たちのプレゼン内容を見て, You can の後に何が入るかを考えさせる。

<p>○「友だちに伝わるような紹介の仕方 を考え、グループでやり取りしよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで話し方やパンフレットの 見せ方などの紹介の際に意識したい ことを考え、発表する。 ・グループ（3～4人）でやり取りの 練習をする。 <p>○「ペアグループでやり取りをしよ う。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアグループ（同じ地域を紹介する グループ）でやり取りを行う。 ・お互いにアドバイスをする。 ・アドバイスを生かして、もう一度や り取りを行う。 ・全体でペアグループのよかったとこ ろや、自分たちがアドバイスを受けて 工夫したことなどを発表する。 	<p>◇部分的にゆっくり話す、ジェスチャ ーや表情をつける、写真を指差すなど の工夫のポイントに気付かせる。</p> <p>◆机間指導を行い、うまくやり取りの 練習ができていないグループのそばに 行って支援を行う。</p> <p>◆机間指導を行い、うまく活動が進め られていないグループや、英語表現な どで困っている児童の支援を行う。</p> <p>◇机間指導を行い、伝わりやすい工夫 ができているところを評価する。</p> <p>◇できることの紹介の順序を変えたり 、グループで話す人数に変化をつけ たりするなど、よい工夫をしているグ ループがあれば全体に紹介する。</p>	<p>【慣③】行きた い国や地域に ついて説明し たり、自分の考 えを理由も含 めて伝え合っ たりしている。 [行動観察、振 り返りカード 分析]</p>
<p>★【めざす子どもの姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に分かりやすく伝えるにはどう表現すればいいかを具体的に考え、それを友達と交流しながら、自分の行きたい国を言ったり、おすすめの国について説明したりしている。 <p>S1: Where do you want to go? S2: I want to go to Italy.</p> <p>S1: OK. Italy is very nice. You can see the Colosseum. It's exciting. You can eat pizza. It's yummy. You can buy olive oil. It's healthy.</p> <p>S2: Oh, good. S1: This is a pamphlet. Here you are.</p> <p>S2: Thank you. S1: Thank you very much. Have a nice trip.</p>		
<p>○「やり取りを通して行きたいと思っ た旅行先とその理由を書こう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアグループとのやり取りでもらっ たパンフレットを見ながら、ワークシ ートに行きたい国とその理由のうち 一つを書く。 	<p>◇活動の前に、黒板に掲示した表現カ ードで、どのような語順で書けばよい かを確認する。</p> <p>◆机間指導を行い、表現を選択できな い児童やうまく書き写すことのできて いない児童を支援する。</p>	<p>【慣②】国名や 行きたい場所 を表す語句や 表現を書き写 している。 [行動観察、ワ ークシート点 検、振り返りカ ード分析]</p>
<p>★【めざす子どもの姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語順や文字の高さなどを意識しながら、相手に分かりやすい丁寧な文字で、自分が行きたい国とその理由を書いている。 <p>I want to go to Italy. I can eat pizza.</p>		

まとめ	<p>振り返り</p> <p>S1: ジェスチャーをつけると相手に伝わりやすいんじゃないかな。</p> <p>S2: 特にアピールしたいポイントはゆっくり大きな声で言ってみよう。</p> <p>S3: 聞く人が反応したり質問したりしてくれると嬉しかったな。自分もやってみよう。</p>	
	<p>○本時の活動をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードを書く。 ・振り返りを交流する。 <p>○挨拶をする。</p>	<p>◇グループで協力して相手に伝わりやすい工夫を考え、おすすめの旅行先を紹介したり、そのやり取りを通して考えたことを書いたりすることができたことなどを評価する。</p> <p>◇次時は学級全体で「おすすめの旅行先紹介」をすることを伝え、準備や練習を進めておくように言う。</p>

1.1 板書計画

